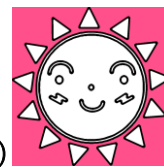


浜っ子

ジョン万スピリット～不撓不屈～

いつも笑顔で
元気です！



2016年12月15日(木)

No.17

土佐清水市立中浜小学校

あいさつ相撲～東西横綱めざして～

毎朝校長室の窓から子どもたちが登校してくる姿が見られます。元気にあいさつをしてくれる子ども、うつむき加減に登校してくる子ども、様々です。先日の朝会で週番の先生からあいさつについてのお話がありました。

「みんなは、児童玄関前では『おはようございます。』が言えますが、この前、登校してくるみなさんに道で出会ったとき、こちらが「おはようございます。」と言っても何も返ってきませんでした。先生はとても悲しい気持ちになりました。みなさんは場所であいさつしていませんか？あいさつは人にするものです。」

確かに、ほとんどの子どもが（常にあいさつをしてくれる人もいます。）玄関前の朝のあいさつはよくできますが、廊下でお客さんに会ったとき「こんにちは。」とあいさつしたり、地域で人に会った時あいさつをしたり、その場に応じて気持ちの良いあいさつができていないか疑問です。

あいさつは『人と人をつなぐ大切な言葉』です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「こんばんは」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」「ごめんなさい」「ありがとう」

たくさんのあいさつがあり、一つ一つのあいさつには大切な意味があります。

例えば、「いただきます」この言葉には2つの意味があると一説では言われています。（近年になって）①食事や食材を作ってくれた人への感謝の気持ち。②食材への感謝。命をいただきますという気持ち。また、「ごちそうさま（ご馳走様）」は、昔は今のよう冷蔵庫もスーパーマーケットもない世の中。食事をだしてもてなすには大変な思いをしたことでしょう。そんな大変な思いをし、もてなしてくれた人への感謝の気持ちがこめられている言葉ということです。

あいさつの言葉の意味には諸説ありますが、あいさつが自分もまわりの人も、互いの心を豊かにする大切な言葉であることには変わりありません。



そこで、本校では意識してあいさつすることから始めようと、「あいさつ相撲」に取り組んでいます。

本校との姉妹校である東京都の北砂小学校の取組を参考にさせてもらいました。

まずは楽しく取り組んで「あいさつ」が自然に心から言えるようになるといいと思います。

ご家庭でも取り組んで下さい。あいさつは躰の一つです。

先にあいさつした方が勝ち！

勝つポイント！

- ①相手の目を見て
- ②聞こえる声で
- ③こちらが先に

たくさんの先生に囲まれて～幡多地区道徳教育研究大会～

12月9日（金）は、「幡多地区道徳教育研究大会～土佐清水市大会～」でした。

幡多郡下から大勢の教職員が本校の道徳の授業を参観に来てくれました。

3・4年生は「あたりまえでしょう」という教材で、『学級活動の時など、一人でもイヤな思いをするのはおかしい。みんなが楽しんであたりまえ。』という価値を学び合う授業でした。大変緊張したと思いますが、それでも臆することなく意見を発表し、友だちと話し合いながら頑張っていました。この学習がこれからの学校生活に生きていくと実感した授業でした。



5・6年生は「和太鼓づくり」という教材で、日本の伝統工芸のすばらしさを感じ、守り伝えることの大切さを学び合う授業でした。今年は、中浜地区伝統芸能の獅子舞を西川区長さんから学んでいるので、「なぜ獅子舞を学ぶのか」子どもたちに自覚してほしいとの願いから授業を組み立てました。

中浜小学校には他の学校にはない、中浜地区・大浜地区の地域の文化や風土そして、願いがあります。それを守り育て伝える役割が中浜小学校の子ども達にはあります。道徳の授業を機会に、子どもも教師しも改めて考えることができました。

また西川区長さんに授業の中で、子どもたちに託す思いも聞かせて頂き大変素晴らしい授業になりました。

ありがとうございました。



ろうかにも溢れるくらい
の先生たちに参観さ
れて・・・。

～歯医者さんに行こう！～

虫歯未治療の人がいます。

乳歯でも、永久歯はもちろん虫歯になってそのまま放置していると、抜け落ちるだけではなく、歯周病の原因にもなります。早めの治療が一番です。歯を生涯大切に
する習慣を身につけさせるのは家庭の役目です。

冬休み中に、必ず治療をして下さい。

12月18日（日）は人権教育参観日・マラソン大会です！

マラソン大会は、午前11時15分に大浜区長場前スタートします。

ぜひ応援をよろしくお願いします。

また、午後からは人権について考える授業です。

ぜひおいで下さい！